

学校教育目標「かしこく・つよく・うつくしく生きる和っ子を育てる。」



ポプラ

石巻市立和渕小学校

令和6年8月26日号

【賢く】(知)【美しく】(徳)【強く】(体)

子供たちの健全な成長のため「はやね・はやおき・あさごはん」「徒歩・自転車通学」を励行しましょう。

<https://www.city.ishinomaki.lg.jp/school/20303200>

「感謝」と「ふるさと和渕」への思いを大切に。

校長 千葉 良夫

長い夏休みも終わり、学校には子供たちの明るい笑顔と元気なあいさつが戻ってきました。大きな事故やけがもなく2学期を迎えられたことに、改めて保護者、地域の皆様に感謝申し上げます。

さて、夏休みはいかがお過ごしになったでしょうか。私は、夏休みに2つの思い出深い出来事ありました。

1つ目が、「パリオリンピック」です。どの競技においても、感動的な場面と選手たちの名言がありました。試合が終わった後の選手たちに共通して出てくる言葉が「感謝」だったことに気付きました。「支え支えられる」「誰かのために」といった気持ちは自分の挑戦に大きな力を与えてくれるということを改めて実感しました。いつも子供たちに話している3つの言葉の1つである「(豊かな心を育む) みんなで」に通じるものがあります。苦しみや悲しみを半分に、そして頑張りや喜びを倍にしてくれる「みんなで」をより一層実感できる2学期にしていきたいと思います。

2つ目が、「和渕夏まつり」です。8、000個の灯籠が創り出す景色は、とても幻想的であり、とても感動的なものでした(一生忘れることはありません)。ニュース番組で特集され、その中で実行委員会の方々の取組やふるさと和渕に対する熱い思いを知ることができました。と同時に、改めてふるさと和渕の温かい愛情に包まれて子供たちが健やかに成長していることを認識することができました。

2学期、子供たちと一緒に「パリオリンピック」「和渕夏まつり」のように、感動的な出来事を創り上げていきたいと思います。保護者の皆様、地域の皆様、2学期も御理解と御協力のほど、よろしくお願いいたします。



サマースクールにはたくさんの子供たちが参加しました。



夏休み中は1日だけのプール開放になりましたが、たくさんの子供たちが遊泳を楽しみました。



ニュースでも紹介された和渕夏まつり。

9月7日（土）はPTA奉仕作業です

9月7日（土）は、PTA奉仕作業です。6時から作業開始です。5時50分に校庭指揮台前にお集まりください。側溝用の幅の狭いスコップをお持ちの方は、ご持参願います。雨天等により延期の場合は、9月6日にメールにてお知らせします。

三者面談・サマースクールの参加協力 ありがとうございました

三者面談では、夏休みの過ごし方や学習の仕方について、担任と親子で話し合い、確認することができました。サマースクールでは、国語と算数を中心に苦手領域の克服に取り組みました。子供たちは意欲的に学習に取り組み、分からないところは積極的に質問する姿も見られました。とても有意義な時間とすることができました。ありがとうございました。

全国学力・学習状況調査の結果について

4月に6年生を対象に、全国学力・学習状況調査を行いました。報道等で全国や県の結果等についてご覧になった方もいらっしゃると思いますが、本校の結果については以下のとおりです。子供たちはとても頑張りました。また、これまでの学習の積み重ねの成果が表れた結果となりました。

【国語】

- 宮城県、全国に対して、概ね上回るか、同等の正答率であったが、細部を見ると下回っている項目がいくつか見られます。
- 正答率を観点別にみると、「知識・技能」が全国を6ポイント上回っており、言葉の特徴や使い方に関する事項がよく身に付いているようです。また、「思考・判断・表現」においても全国を4.6ポイント上回り、中でも特に「書くこと」においては11.6ポイントと大きく全国を上回りました。
- 問題形式別で見ると、「記述式」で+17.9と大きく全国を上回り、「選択式」でも+4.1でした。しかし、「短答式」では-2.2ポイントとなり、全国を下回りました。

【算数】

- 全内容・領域・全観点において、県を上回り、全国に対しても概ね上回るか、同等の正答率でした。
- 領域別にみると、「A 数と計算」は+0.7、「B 図形」は+6.2、「C 変化と関係」は+1.6、「D データの活用」は+4.5と、全領域で全国を上回っています。
- 観点別にみると、「思考・判断・表現」は+5ポイント、「知識・技能」においては、+2.2ポイントでした。
- 問題形式別でみると、記述式が+5.3、選択式が+4.7、短答式は+1.6と、いずれも全国を上回っています。しかし、「記述式」については全国を上回っているとはいえ、正答率は45%といった問題もあり、一概に「よくできた」と言い切れない部分も含んでいます。

【質問紙】

- 規則正しい生活をしている児童が多いです。
- 自己肯定感は全体的に高く、困っている人を助けたい、いじめはいけなく、という気持ちを持っています。
- 平日1日当たりゲームを4時間以上していると答えた児童が2割を超え、3～4時間していると答えた児童も0.5割、2～3時間が2割強と多くの時間を費やしている児童が大変多いです。また、スマホ等でのSNSや動画視聴についても、3～4時間、2～3時間を合わせると3割を超えています。

【考察】

- ① 両教科とも無解答は少なく、「書くこと」の項目や「記述式」の問題形式がよかったことから、書く力を着実に付けてきたのが伺えます。
- ② 国語は「思考力、判断力、表現力等」の中で、「話すこと・聞くこと」が全国・県ともに下回っています。中でも、目的に応じて話題を決めたり、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討することができるかどうかという出題において、正答率が6割弱の正答率にとどまりました。また、「書くこと」は正答率が高かったことから考えると、今後の学習の中で、話や文章の要点をつかみ、自分の考えと結び付けて論理的にまとめる力を付けていくことが大切であると考えます。
- ③ 算数は全てよかったが、細かく見ると「数と計算」が伸び悩んでいます。基礎的な計算問題が6割の正答率にとどまり、県平均よりも大きく下回っています。また、計算の求め方と答えや速さなどを式や言葉で説明する問題などにおいても正答率が5割程度のものが複数ありました。授業の中で、基礎・基本を大事に進め、個別最適な学びや協働的な学びの授業を効果的に生かし、答えを導くその過程を丁寧に進めていく必要があると考えます。

算数チャレンジ大会

7月25日（木）に「算数チャレンジ大会（通称：算チャレ）」予選が、行われました。算チャレとは、県内の小学生が3人1チームとなり、個人戦、チーム戦で算数の問題に取り組むといったものです。本校からは6年生4チーム12人が参加しました。そのうち1チームが本選に出場することができました。本選は9月7日（土）に名取市の宮城県総合教育センターを会場に行われます。県内の地区予選を勝ち抜いたチームとの戦いです。健闘をお祈りします。

